

## 事後評価結果（平成17年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
17-3	道路機能に対応した性能目標照査型 道路計画・設計手法論の研究	名古屋大学大学院教授 中村 英樹	A
<p>&lt; 研究の概要 &gt; 道路が担う多様な機能を効果的に発揮させるため、それらの機能毎に性能目標を設定して、道路の計画、設計を行う手法を研究開発する。</p> <p>&lt; 主な研究成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>道路機能に対応した道路階層区分の提案</li><li>年間を通じた時間交通需要推計手法の開発</li><li>往復2車線道路の追従状態評価手法の提案</li><li>性能照査型道路計画設計手法の体系化</li></ul> <p>&lt; 事後評価結果 &gt; 求められる自動車交通機能に応じた性能から設計を行うという点に有用性を見いだす事ができる。また、その可能性を実証していることから、研究目的は達成され、意義のある研究成果があったと評価する。</p> <p>&lt; 参考意見 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>提案された道路計画・設計手法論全体の実務への適用に向けては、明確な性能数値目標の設定などいくつかの課題の解決が必要である。</li><li>この研究を実務に移すためには様々なデータを継続的に取得するという課題があり、既存の技術では困難であることから、新たなセンサー開発への展開や貢献も考えられる。</li></ul>			